一般財団法人
新技術振興渡辺記念会



（ミッション）

科学技術に関し、調査・研究及びこれらの助成・奨励を行うことにより、
新技術の振興を図り、社会・経済の発展と福祉の増進に寄与する

Watanabe Memorial Foundation
for The Advancement of New Technology

ごあいさつ



理事長　佐藤　征夫

当財団は、神田通信工業（創業者：故渡辺勝三郎氏）の株式を以て、昭和57年（1982 年）7月1日に設立され、平成23年（2011 年）6月1日に、新公益法人制度の下、従来の事業を継承実施する一般財団法人へ移行しました。設立以来、新技術の振興を図り、社会・経済の発展と福祉の増進に寄与することを目的として科学技術に関する調査・研究及びこれらの助成・奨励を行ってきています。

現在、生成 AI 活用の多方面への影響をはじめとするデジタル先導社会の急速な進展、世界各地で頻発する災害の大規模化、世界の政治・経済面でのグローバル化から自国中心主義への反転や各地における紛争の長期化による世界規模でのサプライチェーンに対する地政学的リスクの増大などの世界的な環境変化に直面しております。また、国内における人口減少への対応等多くの制度改革の必要性が指摘されており、科学技術を取り巻く環境は、劇的に変動しています。当財団もこのように大きく変化している国内外の枠組みに対応しつつ、財団の目的に沿って科学技術に関する調査研究等に係る業務を実施していく所存です。

評議員

上田新次郎	元株式会社日立プラントテクノロジー 代表取締役副社長
臼井　勲	元科学技術振興事業団 理事
鍵山眞由美	清泉女子大学 総合文化学部 講師
島田　博文	日本コムシス株式会社 名誉顧問
辻　篤子	科学ジャーナリスト
永野　博	政策研究大学院大学 客員研究員
林　聖子	亜細亜大学 評議員 社会学部 教授
平澤　泠	公益財団法人 未来工学研究所 理事長
村野　和雄	一般社団法人 科学技術と経済の会 顧問
森口　泰孝	公益財団法人 科学技術広報財団 理事長

役員

理事長	佐藤　征夫	
専務理事	下田　隆二	
常勤理事	岩淵　晴行	
理　事	大井　滋	JX金属株式会社 元社長
	太田　充代	産業カウンセラー、THP 心理相談員
	白木澤佳子	国立研究開発法人 科学技術振興機構 監事
	高園　武治	公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事
	中西　友子	東京大学 名誉教授・特任教授、星薬科大学 名誉教授・前学長
	水本　伸子	株式会社トクヤマ 取締役
監　事	片山　泰祥	株式会社NTT ExCパートナー 顧問
	坂田　東一	公益社団法人 日本ローイング協会 会長

顧問

高木喜一郎	一般財団法人 新技術振興渡辺記念会 前理事長

表紙のチューリップの花の白黒写真は日本原子力研究開発機構の研究用原子炉（JRR-3）で撮った中性子線による水分像です。白く映っているところほど水が多い部分です。中性子線では、私たちがX線で内臓や骨が見られるように、植物の中の水分像、つまり組織のイメージが得られます。例えば切り花を調べると開花状態を保持するためには子房の周りの水分保持を長くさせることが大切なことが分かります。つぼみやサヤの中も見えるように中性子線では、通常見ることができない土の中の根の形態や水の吸収をイメージング解析することができます。
（写真提供　中西友子　東京大学 名誉教授・特任教授、星薬科大学 名誉教授・前学長）



事業の概要

1. 科学技術に関する調査研究の実施

科学技術の諸分野における調査研究（科学技術政策の立案・推進、科学技術と社会経済との関連、科学技術人材の育成、科学技術の発展動向など）について、当財団での実施あるいは委託などの方法により実施しています。実施課題数は平成 25 年（2013 年）以降 50 件以上で、直近では下記のような課題を実施しています。

・富士山積雪中マイクロ・ナノプラスチックから探る地球規模汚染及び気候変動に関する新たな視点からの調査研究

・我が国の未来を切り拓く高度人材についての調査研究　―海外の動向や我が国の過去 30 年間の施策の評価を踏まえて―

2. 科学技術に関する調査研究への助成

学協会等公益的な調査研究団体、大学等に所属する研究者などを対象として、科学技術政策の立案・推進、科学技術と社会経済との関連、科学技術のコミュニケーション、人材の育成、発展動向等に関する調査研究に対して、応募課題の中から外部の学識経験者らによる課題審査結果を踏まえて助成を行っています。

過去10年間の助成課題の件数は約220件で、最近では下記のような課題に対して助成しました。

・令和 6 年能登半島地震の海岸隆起地形における多次元高精細アーカイブと教育的活用

・科学技術振興の課題解決に資するための工学者志田林三郎の先見性解明に関する調査研究

・イノベーションにおける「性差とジェンダー」アプローチの有効性に関する研究

募集要領ほか
関連情報

3. 科学技術に関する国際交流への援助

学協会等公益的な調査研究団体、大学等に所属する研究者などを対象に、①海外における国際研究集会等への参加、②国内外で行う国際研究集会等の開催、③外国の研究者等の招へいの 3 分野を援助しています。

過去10年間の援助件数は 60 件以上で、最近では下記のような例があります。

・国際ソフトマター会議 2025 への参加

・第 21 回液晶光科学国際会議への参加

・第 12 回アジアシクロデキストリン国際会議の開催

・第 1 回量子コンピューターとセンサーを指向した分子スピン量子ビット国際会議への招へい

募集要領ほか
関連情報

4. 科学技術振興に関する普及・啓発の推進

当財団の調査研究の実施及び助成により得られた成果を公開するとともに、各種のシンポジウムを主催あるいは他機関との共催、後援により行い、科学技術の普及、啓発の推進を図ります。また、科学技術の振興に業績を挙げた者に対する顕彰を行います。

下記の事業を含め過去10年間に60件以上を実施しました。

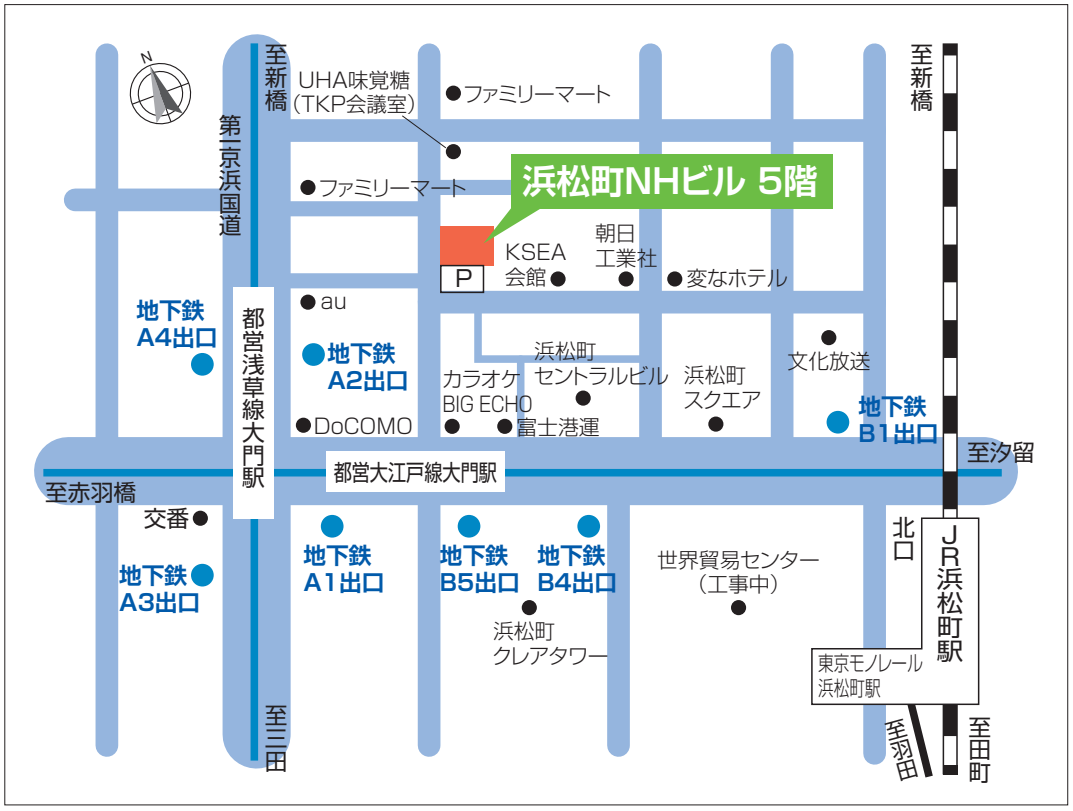
・科学技術映像祭の共催及び当財団理事長賞の授与

・井上春成賞贈呈事業の後援及び受賞研究者への研究奨励金の贈呈

・「技術経営・イノベーション」推進事業（技術経営イノベーション大賞の表彰等）の協賛

・女性技術者育成功労賞表彰式の協賛

以上のほか、当財団では年2回広報誌「新技術振興渡辺記念会だより」を発行しています。



ＪＲ山手線･京浜東北線　浜松町駅(北口)より徒歩３分
東京モノレール　浜松町駅より徒歩５分
都営浅草線･大江戸線　大門駅（Ａ２出口）より徒歩１分

※地上までのエスカレーター／エレベーターはA1、B1、B4、B5出口にあります。



一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

〒105-0013 東京都港区浜松町１丁目 25 番 13 号（浜松町ＮＨビル５階）
TEL 03-5733-3881　FAX 03-5733-3883
https://www.watanabe-found.or.jp/

（2026年7月）